

街のイルミネーションが輝き、クリスマスや冬休みなど楽しみがたくさん待つ12月です。そんな12月の図書館には、寒い日にも心を温めてくれる本や、新しい年に向けて元気をくれる本がそろっています。

今年の締めくくりに、あなたの心にぴったりの一冊を探してみませんか？



## 今月の特集：寒い季節だからこそ読みたい、冬のおすすめ本



『白銀ジャック』 東野圭吾/著 実業之日本社 913

年の瀬のスキー場に爆弾が仕掛けられた。警察に通報できない状況を嘲笑うように繰り返される身代金奪取。ゲレンデを乗っ取った犯人の動機は、金目当てか、復讐か。すべての鍵は1年前に血に染まった禁断のゲレンデにあり…。(TRC MARCより)



『風が強く吹いている』 三浦しをん/著 新潮社 913

奇跡のような出会いから、清瀬灰二と蔵原走は無謀にも陸上とかけ離れていた者たちと箱根駅伝に挑む。それぞれの「頂上」めざして…。長距離を走る(=生きる)ために必要な真の「強さ」を謳いあげた、超ストレートな青春小説。(TRC MARCより)



『青森ドロップキッカーズ』 森沢明夫/著 小学館 913

いじめられっ子の中学生・宏海と、中途半端な不良の雄大。そしてトップを目指して氷上で闘うアスリート姉妹、柚香と陽香…。見た目もキャラもまったく違う凸凹な4人が織りなす、このうえなく爽快で泣ける青春小説。(TRC MARCより)



## ビブリオバトルって知っていますか？



ビブリオバトルは、「人を通して本を知る、本を通して人を知る」読書コミュニケーションゲームです。参加者がそれぞれお気に入りの本を持ち寄り、5分間で紹介します。それぞれの発表後に参加者全員で発表内容についてのディスカッションを2～3分間行います。最後に「一番読みたくなった本」に投票し、チャンプ本を決定します。

発表を通して表現力や聞く力を育て、本との新しい出会いを楽しむことができます。誰でも参加できる、読書の輪を広げるプログラムです。

